



BUSINESS REPORT 2019

第81期 報告書

平成30年4月1日 ▶ 平成31年3月31日



NittoBest

日東ベスト株式会社

証券コード 2877



株主の皆様には、ご清祥のことと拝察申し上げます。

平素は格別のご支援を賜り、ありがとうございました。厚くお礼申し上げます。

ここに第81期（自平成30年4月1日 至平成31年3月31日）の営業の概要をご報告申し上げます。

株主の皆様におかれましては、今後ともよろしくご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

令和元年6月26日

代表取締役社長

大 沼 一 彦

● 当連結会計年度の概要

当連結会計年度におけるわが国の経済は、緩やかな景気回復基調で推移いたしましたが、世界経済の変動による影響や国内における人手不足等から不透明な状況が続いております。

食品業界におきましては、上記国内経済状況の他、消費者の安全・安心への意識の高まりや低価格志向継続、競争激化等厳しい経営環境で推移いたしました。

このような環境のなかで、当社グループにおきましては、販売力の強化、お客様のニーズを捉えた商品開発、お客様への迅速な対応に努めて参りました。その結果、当連結会計年度における売上高は、524億4千9百万円（前年同期比0.4%増）となりました。

利益面に関しましては、原材料価格や燃料費・物流費の上昇等により、営業利益は9億4千8百万円（前年同期比30.8%減）、経常利益は10億4千4百万円（前年同期比30.3%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は7億2千万円（前年同期比28.2%減）となりました。

事業部門の区分別の売上高は、次のとおりであります。

【冷凍食品部門】

冷凍食品部門につきましては、425億6千4百万円（前年同期比0.9%増）となりました。

【日配食品部門】

日配食品部門につきましては、68億4千9百万円（前年同期比5.8%減）となりました。

【缶詰部門等】

缶詰部門等につきましては、30億3千5百万円（前年同期比7.9%増）となりました。

● 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、世界経済の変動による影響や消費税率の引き上げ予定に伴う個人消費の動向等により、国内経済は不透明な環境で推移することが予想されます。

食品業界におきましては、競争激化のほか、原材料価格や物流費、電力料等のエネルギー費、人手不足による人件費の上昇等が懸念されること等から、業界を取巻く環境は引き続き厳しい状況が続くものと思われま。加えて、異物混入防止や放射能、アレルギーへの対応も含めた安全・安心な食の提供や環境問題への対応等、企業に求められる社会的責任は増大してきております。

このような環境に対し、当社グループは高度な品質の実現を重要課題として、販売力の強化、お客様のニーズを捉えた商品開発、生産効率の向上を進めるとともに、安全・安心な商品の安定的な供給体制を維持するために検査・分析能力等の更なる充実を図り、グループ全体の収益性の向上に取り組んで参ります。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

「日東ベストなら安心だね」

その一言が聞きたくて、安全・安心への取り組みを重ねております。

検査・分析による安全性の検証

当社中央研究所では、電子顕微鏡等の高度な機器を揃え、安全性の検証のため各種分析・検査を行っております。

具体的には、食品衛生上最も重要である食中毒菌等の微生物はもちろんのこと、放射性物質、アレルギー物質等の分析・検査であります。

微生物関連の検査では、食中毒菌である腸管出血性大腸菌のO157を含む数種について、遺伝子を利用した方法により検出を行い、なお一層の安全性を確保いたしました。

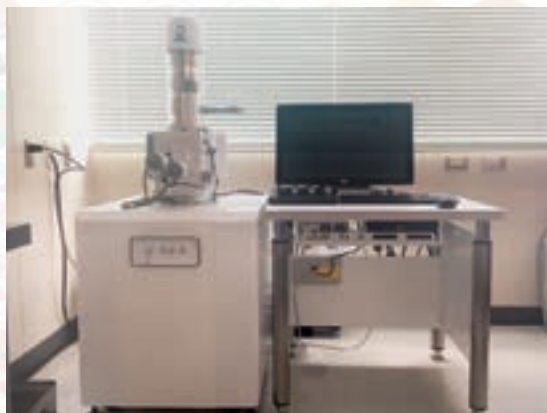
法令による分析法の変更や、社会のニーズに合わせた検査法の導入等を適切に行い、今後も、食品の安全・安心を脅かす問題に、迅速かつ適切に対応できるよう努力して参ります。

アレルギーに配慮した食品への取り組み

当社では、アレルギーに配慮した食品として、卵・乳・小麦を使用しない「フレンズミール」「フレンズスイーツ」を製造して参りましたが、平成30年度は神町工場に新たに「グラタン」と「クレープ」の製造ラインを新設いたしました。

グラタン・クレープともに、卵・乳・小麦を使用しない新処方や独自の設計による新規設備機器等、新しい技術を導入し、高度な品質を実現しております。

これにより、「フレンズシリーズ」の商品ラインナップがさらに充実し、商品選択の幅が広がりました。



電子顕微鏡



腸管出血性大腸菌の検査



卵・乳・小麦不使用のフレンズミール・フレンズスイーツ専用「神町工場」

商品開発TOPICS（ヒット商品と開発の状況）

2つのフレンズの「充実」 さらに「うす塩味」がプラス

卵・乳・小麦を使用せずアレルギーに配慮したフレンズシリーズ。一昨年発売した器ごと食べられる「グラタン」に加え、新たに「クレープ」がラインナップに加わりました。生地には国産米粉、国産大豆から搾った自家製豆乳を使用しております。

また学校給食摂取基準が改正されたことに対応し、ナトリウム（食塩相当量）の値にも配慮した「うす塩味」シリーズもラインナップに追加いたしました。

これからも「みんなと一緒に楽しく同じものを食べたい！そんな思いに応える」を基本理念にフレンズスイーツとフレンズミールの「2つのフレンズ」を拡充して参ります。



フレンズクレープ

惣菜向け商材の充実

お重・弁当商材として「三元豚ロース生姜焼き」を新発売するとともに、「ねぎ塩牛タン重の具」をブラッシュアップいたしました。

また、おかず商材として「ベストデリヒレカツ」「大きな肉だんご」を新発売し、さらに細かめのカリッとしたパン粉を付けた昔懐かしい味わいの「大判ハムカツ」や「ハム天（天ぷら）」もラインナップに加える等、オリジナリティー溢れるハムカツを充実させました。



三元豚ロース生姜焼き

外食向け「焼菓子」の充実

外食分野では焼菓子市場獲得のため、「ホールタルト」「シートケーキ」に加え、「20カットロール」を新発売いたしました。スポンジのふんわり感をアップし、彩り良いスポンジと2色クリームで「見映え」も意識いたしました。さらにご好評を頂いております「スフレロール」をブラッシュアップし、今年度も「3つの焼菓子」を拡販して参ります。



3つの焼菓子

硬さ調整食のさらなる拡充

病院と福祉施設向けに開発いたしました軟菜食ブランド「ホスピタグルメ」は、発売から20年を迎えることができました。今年度は「HG京風卵の花」「HGやわらかウインナー風」「HGスパニッシュオムレツ」等が加わり、ラインナップがさらに充実いたします。

また、「スムーズグルメ」も噛む力、飲み込む機能が弱くなった方向けの食品として、「スムーズグルメセット」を中心に、さらに充実させて参ります。



HGやわらかウインナー風

海外事業展開

ジャパン・ベスト・フーズ

当社は総合商社の双日グループと共同で、ベトナムのホーチミン市近郊ロンドウック工業団地内にジャパン・ベスト・フーズ (Japan Best Foods Co., Ltd.以下、JBF) を設立し、平成29年3月より稼働を開始しております。

JBFは現地コンビニエンスストアや大手量販店向けに日配惣菜の製造販売、外食店向けに畜肉原料の加工製造販売を行っております。

日配惣菜部門では、ベトナムで初めて最新鋭のおにぎり連続生産ラインを導入しております。おにぎりの他、弁当・サンドウィッチ・サラダ・麺類等、幅広く供給しております。

日本と同じ衛生管理システムを取り入れ安全・安心で美味しい食品を製造しており、現地ユーザーからは高く評価されております。

今後はさらに供給店舗を拡大し、ベトナムの食に貢献して参ります。



JBF外観



店頭の商品



社内保育園の様子

仕事と家庭の両立支援

当社では、少子化・高齢化・核家族化の進むなかで、仕事と家庭の両立支援は、継続的(長期化)就業を可能とするために重要であると認識しております。

社内保育園の運営

食品メーカーは一般的に女性従業員が多いといわれております。当社でも6割が女性で、特に生産現場は7割近くになります。

女性が働き出して、ようやく仕事を覚えた頃、出産・育児を理由に会社を辞めなければならないことは、本人にとっても会社にとっても大きな損失となり、なんとか仕事と子育てを両立できないかと当時の経営者は考えました。

「親と子どもは近くにいることで、お互いが安心する」という考えのもと、昭和44年事業所内託児所を開設し、現在は保育園として従業員の子育て支援を展開しております。

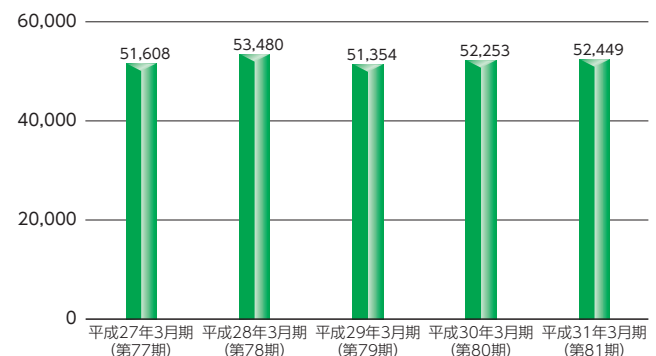
福利厚生サービス導入

働き方改革による「残業削減」「有給消化促進」の次のステップとして、余暇を充実させる支援は大変重要であると考えております。当社では新しい取り組みとして、①育児・介護の生活支援 ②宿泊・スポーツ施設の余暇支援 ③教育に関するスキルアップ支援 ④慶弔ライフプラン支援等、様々な福利厚生サービスが受けられる福利厚生アウトソーシングサービスの導入を開始いたしました。

連結財務ハイライト

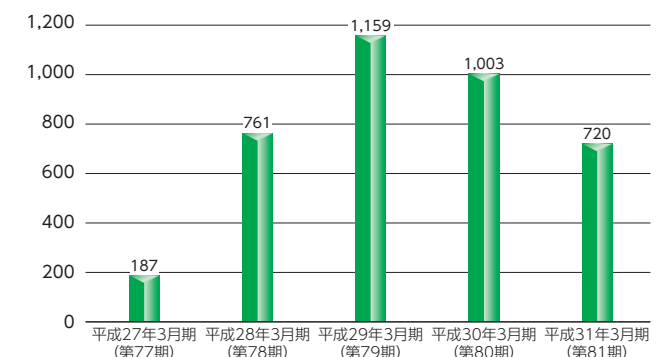
売上高

(単位: 百万円)



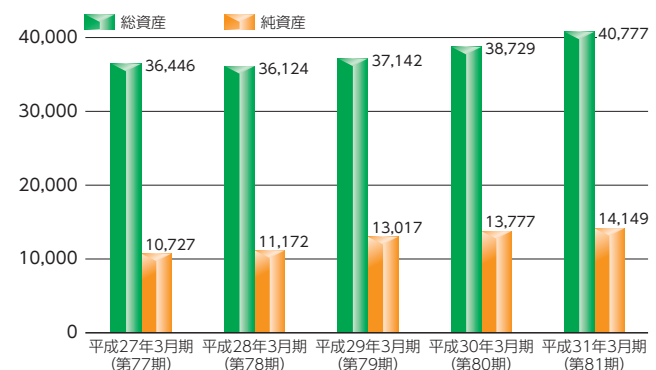
親会社株主に帰属する当期純利益

(単位: 百万円)



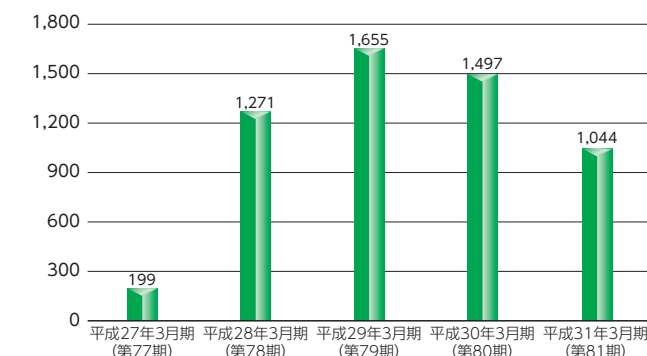
総資産/純資産

(単位: 百万円)



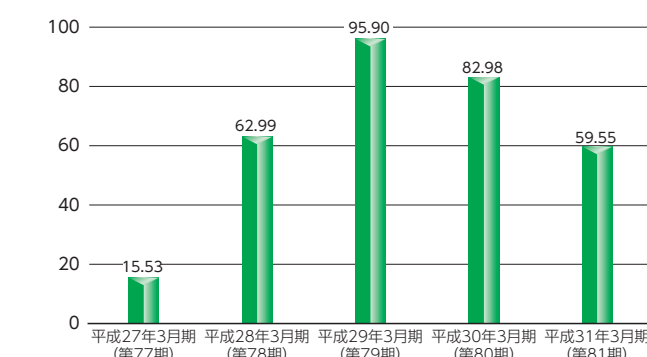
経常利益

(単位: 百万円)



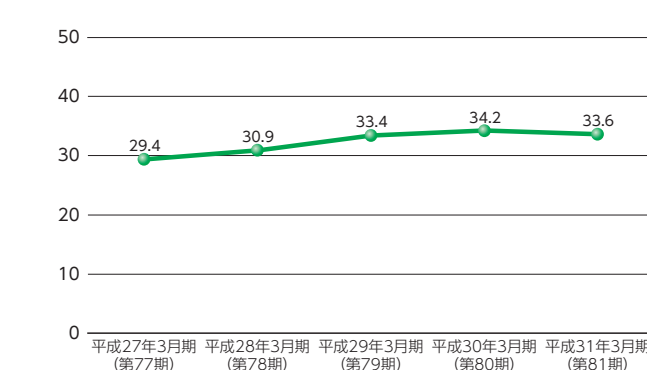
1株当たり当期純利益

(単位: 円)



自己資本比率

(単位: %)



連結財務諸表（要約）

●連結貸借対照表

（単位：百万円）

科目	当連結会計年度 (平成31年3月31日現在)		科目	当連結会計年度 (平成31年3月31日現在)	
	前連結会計年度 (平成30年3月31日現在)	前連結会計年度 (平成30年3月31日現在)		前連結会計年度 (平成30年3月31日現在)	前連結会計年度 (平成30年3月31日現在)
(資産の部)			(負債の部)		
流動資産	20,256	19,860	流動負債	17,663	16,668
			固定負債	8,964	8,283
固定資産	20,520	18,868	負債合計	26,628	24,951
			(純資産の部)		
有形固定資産	16,484	14,925	株主資本	13,507	12,968
			資本金	1,474	1,474
無形固定資産	122	65	資本剰余金	1,707	1,707
			利益剰余金	10,329	9,790
投資その他の資産	3,913	3,659	自己株式	△ 4	△ 4
			その他の包括利益累計額	206	284
資産合計	40,777	38,729	非支配株主持分	435	524
			純資産合計	14,149	13,777
			負債・純資産合計	40,777	38,729

●連結損益計算書

（単位：百万円）

科目	当連結会計年度 (自平成30年4月1日 至平成31年3月31日)	前連結会計年度 (自平成29年4月1日 至平成30年3月31日)
売上	52,449	52,253
売上原価	41,961	41,452
販売費及び一般管理費	10,487	10,800
営業利益	9,539	9,430
営業外収益	948	1,370
営業外費用	214	230
経常利益	118	103
特別利益	1,044	1,497
特別損失	0	0
税金等調整前当期純利益	36	72
法人税、住民税及び事業税	1,008	1,425
法人税等調整額	364	464
当期純利益	△ 8	31
非支配株主に帰属する当期純損失(△)	652	929
親会社株主に帰属する当期純利益	△ 68	△ 74
	720	1,003

●連結株主資本等変動計算書

当連結会計年度（自平成30年4月1日 至平成31年3月31日）

（単位：百万円）

	株主資本						その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	1,474	1,707	9,790	△ 4	12,968	421	25	△ 162	284	524	13,777	
当期変動額												
剰余金の配当			△ 181		△ 181						△ 181	
親会社株主に帰属する当期純利益			720		720						720	
自己株式の取得				△ 0	△ 0						△ 0	
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						△ 53	△ 21	△ 3	△ 78	△ 89	△ 167	
当期変動額合計	—	—	538	△ 0	538	△ 53	△ 21	△ 3	△ 78	△ 89	371	
当期末残高	1,474	1,707	10,329	△ 4	13,507	368	3	△ 165	206	435	14,149	

●連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

科目	当連結会計年度 (自平成30年4月1日 至平成31年3月31日)	前連結会計年度 (自平成29年4月1日 至平成30年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,257	3,584
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 3,097	△ 1,384
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,787	△ 1,535
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 2	△ 29
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 54	635
現金及び現金同等物の期首残高	3,588	2,952
現金及び現金同等物の期末残高	3,533	3,588

◆ホームページのご案内◆

- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会 毎年6月
- 配当金及び中間配当金 配当金は毎年3月31日（ただし、中間配当を行う場合は9月30日）現在の株主名簿に記載または記録された株主または登録株式質権者にお支払いいたします。
- 公告掲載方法 電子公告の方法により行います。ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載します。
- 公告掲載URL <http://www.nittobest.co.jp/>
- 株主名簿管理人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
みずほ信託銀行株式会社
- 同事務取扱場所 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部



<http://www.nittobest.co.jp/>